

学校教育目標
やさしい子
元気な子
進んで学ぶ子

学校だより

令和7年6月12日(木)
島原市立第四小学校 No.7

いのりの日集会

～当たり前のことができることに感謝を～

6月3日、島原市にとって大切な日。本校でも、火砕流による被災の体験を継承し防災意識を高めること、「生命・きずな・感謝の心」を大切にする子どもを育てること等を目的として「いのりの日集会」を開きました。今年度は、被災当時南島原市の小学生だった本校の図書ボランティアの方が当時を振り返り、お話をしてくださいました。

【深江小4年生だった永川さん】



- ・煙が襲ってきて走って帰った。
- ・夏休みが突然始まり、突然友だちと会えなくなった。
- ・学校がいつから始まるかわからず不安だった。
- ・被災した友だちが遊びに来て、普通にごはんとみそ汁を食べられることに泣いていた。
- ・当たり前は当たり前ではないことを感じた。

【大野木場小5年生だったコリンズさん】



- ・今日の朝までいた家に、突然帰れなくなった。
- ・家にはいろんな物がある…飼っていた牛もいる…
- ・町民センターの2階で先生が勉強を教えてくれた。
- ・教科書もなかったのに、先生が教科書を配ってくれた。
- ・教科書には知らない名前が…
- ・県外の子ども、家族が送ってくれていたことに感動。

【深江小6年生だった副島さん】



- ・火砕流で灰が降り、昼間でも真っ暗で夜みたいだった。
- ・マスク、ヘルメット、ゴーグルをつけて集団登下校。
- ・一か月で仮設校舎ができ、小林小、深江小、大野木場小、深江中と同じところにいた。
- ・あきらめずに過ごした。たくさんの方が助けてくれた。
- ・自然災害は大人も子供も選ばない。

みんなで力を合わせて乗り越えようと強い気持ちをもってあきらめなかった自分たち。

そして、たくさんの助けを与えてくださった周りの人たち。

「生命・きずな・感謝の心」を改めて考えることができた一日となりました。

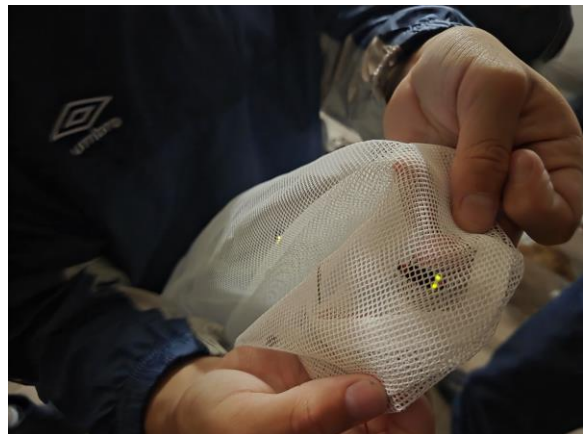
図書ボランティアのみなさま、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

好きです！みんなのふるさと ～ホタル再生プロジェクト2～

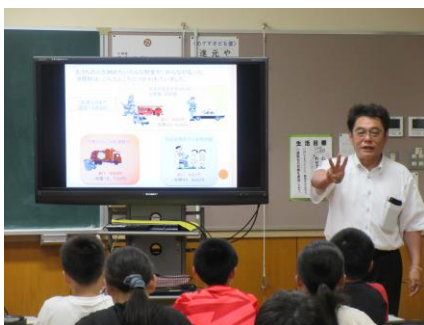
学校だより No6 でお伝えした上記プロジェクトの第2弾。6年生が、ホタル捕りに6月5日（木）に宇土川に行ってきました。最初の計画では、市民清掃前の5月30日に予定していましたが、突然の大雨、雷で延期していたところです。19時45分に学校に集合し、まずは青少協の内藤賢裕さんから話を聞きました。安全に活動するための注意事項や清掃活動が行われた後なのでもしかしたらホタルは少ないかもしれないとの話でした。それでも、ホタルを見ることが出来る期待感いっぱい子どもたちは出発しました。その期待感が届いたのか、きれいな水が流れる宇土川でたくさんのホタルを見ることができ、たくさんのホタルを捕ることができました。ただ、捕り過ぎることはホタルを増やすためにはよくないことをみんな理解しています。必要最低限のホタルだけを網に残し、後はリリースしました。持ち帰ったホタルが卵を産めるように、そしてその後孵化させて、幼虫を川に戻し、来年またたくさんのホタルが宇土川を飛ぶように育てていきます。

「杉谷ホタルを未来へつなぐ」ためのプロジェクト、今後も続けていきます。

平日の遅い時間にも関わらず、ご参加いただいた青少協、保護者のみなさま、ありがとうございました。



税金って何のためにあるの？ ～租税教室～



島原法人会様が来校してくださり、社会で政治の学習をしている6年生に「税金」について詳しく話をしてくださいました。税金がなくなるとどんなことが起こるのか、自分一人にどれだけの税金が使われているのか等たくさんのかことを学ぶことができました。1億円の重みも体感させていただきました。（その写真はHPでご覧ください。）

島原法人会様ありがとうございました。